

# 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則により実施する。

2. スタートについて

TR16.5については非適応とする。但し、(16.5.1)、(16.5.2)、(16.5.3)の不適切行為が繰り返し行われたり悪質なものにはTR16.5・TR7.2を適応とする。

3. 場内司令について

選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。

また、競技者の本部前の通行は厳禁とする。

新型コロナウイルスの関係で観客はバックスタンドのみとする。

4. 練習について

練習は、サブトラックまたは雨天練習場を使用する。(サブトラックでの投てきは禁止)ただし、1日目の5000mWと2日目の300m、300mHの競技時間は使用禁止とする。跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。

(フィールド競技は招集完了時刻以前には、フィールド内に入ることはできません。)

メイン競技場については、トラックのみ7時30分から競技開始40分前まで開放する。

監督・顧問・キャプテンは、チームに徹底させる。

5. 招集について

①招集時間は次の通りとする。

(ア) トラック競技は、競技開始30分前に始まり、15分前に終わる。

ただし、新型コロナウイルスの関係上密を避けるため各組の招集時間は競技日程の記載時刻を厳守すること。

(イ) フィールド競技は、競技日程の記載時刻とする。

(ウ) 選手は、招集完了5分前には、必ず選手招集所内で待機し、競技者係よりアスリートビブス、靴底の厚さやスパイクのピンの長さ、商標等の点検確認を受けること。

(エ) 招集所は、第4ゲート付近の場外に設ける。

②代理人による招集は一切認めない。また出場選手以外の招集所への立入りを禁止する。

③2種目以上を同時刻に兼ねている選手は、あらかじめその旨を招集所に申し出る。

④招集完了時に遅れた選手は、その競技種目の出場を棄権したものと処理する。

⑤その種目にやむを得ず棄権するときは、その旨を招集所に申し出る。

⑥リレー種目について

・リレーオーダー用紙は、招集所で配布する用紙に記入し。各ラウンド(予選・決勝)ともに、招集完了時刻の1時間前までに、競技者係まで提出する。

・点呼は、4人全員で受けること。(他種目に出場している場合は代理人可)

6. 競技場への入退場は、すべて係員の誘導指示を受ける。

7. アスリートビブスは、ユニホームの胸と背に確実に付ける。

跳躍種目はこの限りでない。

8. トラック競技の走路順はプログラム記載の番号順とする。

## 9. 走高跳・棒高跳について

バーの上げ方

男子走高跳	1 m 6 0 (練) → 1 m 6 5 (最初)	1 m 9 5 以降 3 cm
女子走高跳	1 m 2 5 (練) → 1 m 3 0 (最初)	1 m 6 0 以降 3 cm
男子棒高跳	3 m 3 0 ・ 4 m 2 0 (練習) → 3 m 4 0 (最初)	
女子棒高跳	2 m 3 0 ・ 3 m 0 0 (練習) → 2 m 4 0 (最初)	

10. 三段跳の踏み切り位置は次の通りとする。男子 12 m 女子 10 m

11. 投てき種目の計測ラインは以下の通りとする。

男子：やり投 40m00、女子：やり投 20m00

12. やりの検定は、競技開始 1 時間前に第 2 ゲート器具庫前にて行なう。

13. チーム（学校）控え場所の清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実に行なうこと。

各チーム（学校）で出したゴミは、確実に持ち帰ること。

## 14. その他

① 3000 m、5000 m、5000 mW は制限タイムを設定し、

最後の周回に入っている走者以外は制限時間でレースを打ち切る。

制限時間 男子 3000m 12 分 00 秒 女子 3000m 13 分 00 秒

男子 5000m 18 分 30 秒 女子 5000m 20 分 00 秒

男子・女子 5000mW 35 分 00 秒

② 表彰についてはコロナウイルスの関係上行わない。ただし決勝 3 位までの入賞者は正面玄関の TIC にて賞状を受け取ること。

③ リレーオーダー用紙、二種目同時出場届、棄権届が不足する場合は招集所で必要枚数を受け取ること。

④ 個人情報の取り扱いについて

本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しません。

⑤ 応急処置を要する場合、及びその他健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て救護室を利用することができる。

競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。

⑥ 新型コロナウイルス感染防止対策に関して

- ・ 事前体調管理チェックシートを提出していない者の参加は認めない。
- ・ 招集場所等で大人数になることがないように各自注意すること。
- ・ 器具等を触った手で口や目を触らず、競技前後の入念な手洗いをすること。
- ・ 密閉・密集空間、近距離での会話や発声・高唱を避けること。また、大きい声を張り上げての応援は絶対にしないこと。

⑦ 和歌山県登録者で、今大会 6 位までの入賞者は近畿選手権大会（9 月 3 日～4 日、場所：京都）に推薦可能です。出場希望者は下記にて申し出ること。ただし、県選手権大会入賞者を優先する。

**出場希望者は受付にて推薦申込み用紙に必要事項を記入し、大会終了後までに必ず提出すること。なお、参加料は県選手権大会時に参加の有無を確認して徴収する。**